

時代	西 暦	年 号	歴 史 的 事 項
安 土 桃 山 時 代	1590	天正 18	白江大久保城は政宗のために落城した。(白江村誌)
		" 18	今泉城は伊達政宗のため落城した。(今泉村誌)
		" 18	里守屋村は若松城主蒲生氏郷の領となる。(守屋村誌)
	1591	" 19	秀吉は会津 4 郡、仙道 7 郡 120 万石を蒲生氏郷に与えた。
		" 19	今泉村、柱田村、滝村、白江村は蒲生氏郷の領となる。(各村誌)
	1592	文禄 元	梅田長命寺建立(梅田村誌)
	1593	" 2	柱田照光寺開山(柱田村誌)
	1594	" 3	秀吉は青木但馬をしてこの地方の検地をさせた。
	1596～	慶長 元	このころ里守屋獅子舞始まると。(昭47村文化財指定)
	1598	" 3	上杉景勝は須賀川に栗田刑務、長沼に島津佐京をおいてこの地方を治めた。
江 戸 時 代	1602	" 6	里守屋村、今泉村、柱田村、梅田村は若松城主蒲生秀行の領となる。(各村誌)
		" 6	蒲生秀行は会津60万石の領主となり須賀川に蒲生源左エ門を、長沼に蒲生五郎兵エをおいて始めた。
	1609	" 14	長沼城代は玉井数馬とその子稲田志摩を交替した。
	1627	寛永 4	加藤嘉明は会津40万石の城主となり須賀川に松本仁右エ門、長沼に青木左右エ門、恒川又右エ門を郡代としてこの地方を治めた。(里守屋、梅田村、滝村各村誌)
	1627	" 4	滝新田、吉兵エ新田が墾かれた。
		4	大久保村、畑田村、矢沢村、深渡戸村は幕領となり御蔵入と称した。(白江村誌)
	1643	" 20	里守屋村、今泉村、梅田村は白河城主松平大輔忠次の領となる。(各村誌)
	1649	" 20	北横田村、滝村、柱田村は白河城主松平忠次の支配となる。(両村誌)
		" 20	滝新田村に会津領加藤嘉明の兵卒定住す。(滝村誌)
		慶安 2	柱田村、梅田村、滝村は幕臣三枝能登守の支配となる。(各村誌)
	慶安 2	幕府は岩瀬郡のうち長沼、勢至堂、江花、滝、滝新田、成田(梅田)、里守屋、町守屋、今泉、上下柱田、館ヶ岡、南北横田、志茂、深渡戸、	
	寛文 2	吉兵エ新田、畑田、矢沢、大久保、堀込、木之崎、松塚、稲村、泉田、大桑原、牛袋、山寺、袋田、越久、仁井田、滑川の32ヶ村 2 万 600 石を幕領として長沼に陣屋をおき、代官設楽源左エ門、近山五郎右エ門をして治めさせた。	
	1658	万治年中	上柱田村、下柱田村は分村した。(柱田村誌)
	1659	万治 2	里守屋村、町守屋村は分村した。(守屋村誌)
	1662～ 1682	寛文 2～ 天和 2	代官市川孫右エ門の支配となる。(白河村誌)
①	1671	寛文 11	長命寺観音堂鱧口記銘(昭47村文化財指定)
	1673	" 13	長沼支配下検地の結果 2 万 9000 石となった。
	1673	延宝年中	今泉村は幕領となる。(今泉村誌)
	1680	" 8	西蔵寺焼失(守屋村誌)